

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 家族DE食育 健康のぼりべつ
-------------------	-----------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	1	市民の主体的な健康づくり意識の確立
小分類	1	健康づくり運動の推進
主要な施策	2	食を通じた健康づくりの推進
事務事業番号	002	事務事業コード 12112002 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	食育事業
------	------	------------	------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進G
-----	-------	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	食育事業
-----------------	------

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 新規事業(家族で楽しい!食育フェスタinのぼりべつ) 1. プロ(著名人)の料理研究家による講話・実演・試食 2. 展示・相談コーナー 3. おやこクッキング教室 4. わが家の簡単レシピ募集 普及啓蒙事業 1. へるしー講座 子どもをもつ女性を対象に栄養・食生活に講話と試食等講座を実施する。 2. スマートダイエット講座 若い世代の肥満予防を目的に、栄養・運動の講話、実習を行う。 3. 食育おやこ料理教室 4. 健康通信きらりによる情報提供(年6回) 5. もぐもぐ食育広場(年3回)
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 子育て世代の食生活は欠食、糖質、脂質の過剰、外食の増加、野菜不足などの傾向があるため事業を通して栄養・食への関心を持つ機会をつくり、家庭でとり入れられるレシピの実演・試食・展示・相談などで、食生活と健康・生活習慣病の予防を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	家族で楽しい食育フェスタ参加数	人	目標値	100				
			実績値	90				
	おやこクッキング教室	人	目標値	30				
			実績値	28				

事業費の推移

区 分			単 位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 健康増進事業補助金	千円	504					0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 健康づくり推進助成金	千円	316					0
	一般財源	名称	千円	758					0
合 計				1,578	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	310	0			
			嘱 託 員	千円	148	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		458	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 明日のまちづくり事業で市として取り組む事業である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 食は健康づくりの基本であり、プロによる講話・実演・料理レシピも好評であり、食の大切さを学び好ましい食習慣をつける機会となりました。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 若い世代から栄養についての関心を持つ機会となり生活習慣病の予防が図られた。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 単年度事業であるため削減となる。

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	明日のまちづくり事業として実施しましたが、プロの料理研究家の実演・おやこでの調理と食・栄養への関心を持つ機会となり、健康増進・生活習慣病予防を図ることにつながった。今後は普及啓蒙事業等は食育事業として継続してまいります。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）